

授業科目 日常生活活動学実習Ⅰ

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	作業
貝 淵 正 人		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：GIO】 日常生活活動（ADL）および生活関連活動（IADL）分析・評価および、障害者への支援・指導法など応用的技法について修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 基本動作の特徴を分析することができる。 2. ADL評価を的確にできる。 3. 代表的疾患に特有なADLプログラムを施行することができる。 4. 福祉用具を適切に選択し、実践することができる。 5. 簡単なスプリントや自助具を作成することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	起居動作の分析			1	実習
2	ADL動作分析 1			1	実習
3	ADL動作分析 2			1	実習
4	ADL評価			2	実習
5	姿勢の評価：臥位・座位・立位の観察ポイント			2	実習
6	スプリント作成実習 1			5	実習
7	スプリント作成実習 2			5	実習
8	片麻痺のADL1			3	実習
9	片麻痺のADL2			3	実習
10	その他の疾患のADL			3	実習
11	福祉用具 1			4	実習
12	福祉用具 2			4	実習
13	自助具 1			5	実習
14	自助具 2			5	実習
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	片麻痺能力回復と自立達成の技術		生田宗博	三輪書店	2008・5,460円
	ADLとその周辺 第2版		伊藤利之、鎌倉矩子	医学書院	2008・6,300円
	義肢装具学 第3版		川村次郎、竹内孝仁	医学書院	2004・7,000円
参考書	ADL 第2版—作業療法の戦略・戦術・技術		生田宗博	三輪書店	2005・4,725円
	日常生活活動（動作）		土屋弘吉	医歯薬出版	2002・6,650円
その他の資料					
【評価方法】 (1)出席2/3以上 (2)期末試験60点以上 (1)でかつ(2)の場合合格とする			【履修上の留意点】 動きやすい服装で参加すること。		